



年ねんレベルも向上している市展

市展に 434 点 「文芸にいつ」3号も発表

第五回を迎えた「市展」が十日から十二日までの三日間、市民会館で開かれました。応募者は昨年よりちよつと減りましたが、それでも二百二人、四百三十四点の作品が、大ホール一杯に展示されました。また「文芸祭」も今年で三回目を迎えました。十日の市展のテーブカットに合わせ「文芸にいつ第三号」が発表されました。こちらの方は昨年よりすこし応募者が増えて、二百十人の方の作品が掲載されています。一冊四百円で、市内の各書店にもありますのでお求めください。

文芸祭記念講演に お出かけください

今年も「文芸祭記念講演」が行われます。さそいあつてぜひお出かけください。入場は無料です。

〇とき：十一月二十三日（祝日）の午後一時三十分から
〇ところ：視聴覚ホール（図書館一階）
〇講師：斎藤文一氏（新潟大学教授）
〇講演のテーマ：「宮沢賢治と天然」

文化の向上めざして

新津市美術協会が発足

さる十月二十八日、市民会館で「新津市美術協会」の設立総会が行われました。当日は六十人ほどの方が集まりましたが、いまのところ会員は百四十人ほどということですが、設立発起人の一人であり、このたび協会の会長におられた坂爪精一郎さん（秋葉二）



坂爪 精一郎 さん

和を第一に 腕の向上を

美術協会を作ろうという話からは前からあったんです。市の方でも「市展」を始めたというように、いろいろ市民に働きかけてきたわけですが、それに応える市民の動きが、いままでも表面化しなかったわけですね。でも、いつまでも市にオンブしていたのでは発展

に、設立の趣旨や今後の活動のことなどについてうかがいました。

ものに、協会は「和」を第一に、親睦をはかっていきたいと思っています。『和』がなければ、お互いに批評しあうこともできませんから。批評しあうていく中で技術を高めることができれば最高です。それに、一般の美術愛好者からほとんど人入会してもらいたいと思います。

将来の夢としては、新津に美術博物館をつくるというところですか。簡単にはできないでしょうけど、協会もいろいろな活動をして、『権をまく』役割を果たしたいですね。



図書館で「川柳展」

当市は川柳の盛んなところとして有名ですが、11月10日から12日までの3日間にわたって、図書館で「川柳展」が開かれました。これは、当市に本拠地をもつ柳都川柳社の30周年記念行事の一環として行われたもので、会場には、故人の著名川柳家をはじめ、現役作家の半折、色紙、短冊なども展示されました。

お買物、ご用命は市内で

ミニプッシュホン

■プッシュホンに新しい仲間がふえました。

●小型で軽量です。●洗練されたスタイルです。●手の中で操作できます。

電話のむこうはどんな顔



新津電報電話局（お申込は4-1000へ）

